

## ペットボトルロケットづくり!

ペットボトルロケットづくりを6月17日(土)に行いました。

参加した子どもたちの中には、低学年児童もいましたが、保護者の皆さんのお手伝いを得ながら、2時間かけて色とりどりのペットボトルロケットを作り、見事に遠くまでよく飛ぶロケットを完成させました。

製作を始める前に、風船に空気を入れて、空気の出口を開けると飛んでいく様子を見せ、飛ぶ理由を考えてもらいました。そして、ペットボトルロケットの飛ぶ理由も説明しました。しっかり聞いてくれました。



ロケットづくりは、ペットボトルを切るところからはじめました。慣れない「ペットボトル用はさみ」を使うので、みんな苦勞していましたが、だんだんと上手になりました。エンジンタンクにダミータンクを取り付けたり、ゴム製トップをまっすぐに取り付ける作業なども、とても丁寧に行っていました。

いよいよ最大の難関、スカートと呼ばれる部分に4枚の羽の取り付けです。これがなかなかの力仕事で、普通のホチキスより大きなホチキスを使って、合計16ヶ所も止めなくてははいけません。付き添ってこられた保護者のみなさんも汗だくでした。



最後の仕上げは、羽などの保護もかねて、ビニールテープでの飾りつけです。胴体部分に自分の名前や模様をつけたりして、すてきなロケットに仕上がりました。

外に出て発射台にセットし、打ち上げました。空気を入れる回数は20回にして飛ばしました。遠くまで飛んで行き、飛ばすたびに、「ワー」と、子どもたちも保護者の方々も歓声があがりました。



今回のいわチャレは 参加者：12名(小学生) 保護者4名  
指導者：岩見沢郷土科学館管理指導員  
富岡 哲也・海野尾泰弘

みなさん、ありがとうございました